

令和7年度（2025年度）

実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

団体名	泉南市商工会
代表者職・氏名	会長 藤田 眞弘
所在地	〒590-0535
	大阪府泉南市りんくう南浜2-5
設立年月日	昭和47年07月10日
職員数	6
うち経営指導員数	5
所管地域	大阪府泉南市
管内事業所数	1,943事業所
うち小規模事業者数	1,272事業所
会員数	1,220事業所
組織率	62.6%
担当者職・氏名	事務局長 土井 一茂
連絡先電話番号	072-483-6365
連絡先メールアドレス	info@sennan-sci.or.jp

□主な事業概要（定款記載事項等）

- (1)商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。
- (2)商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。
- (3)商工業に関する調査研究を行うこと。
- (4)商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。
- (5)展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。
- (6)商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。
- (7)商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。
- (8)行政庁等の諮問に応じて答申すること。
- (9)社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。
- (10)商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。
- (11)大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。
- (12)商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。
- (13)行政庁から委託を受けた事務を行うこと。
- (14)外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。
- (15)前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

泉南市は『和泉木綿』の産地として有名で、近代以降紡績業を中心とした繊維工業が発展した。昭和40年代後半以降、円高による国際競争力の低下により工場の縮小・閉鎖が相次ぎ、現在紡績業として経営する事業所は減少傾向にある。現状の産業別事業所数をみると、製造業212（10.9%）、卸・小売業481（24.7%）、建設業170（8.7%）、宿泊・飲食サービス業173（8.9%）と卸・小売業の割合が高くなっており、紡績業で発展してきた泉南市の産業構造の変化が読み取れる。地域の経済循環率は周辺地域と比較して高い数値となっているが、大型商業施設の市内進出が要因である。その集客力が大きく影響しており、逆に言えば地域事業所の集客力が低下していると推測される。泉南市の産業経済全体の状況を見ても、リーマンショック以後近年の新型コロナウイルス感染症等の影響を受けるなど、売り上げ・受注の減少が響き、すべての業種を通して、事業所数は減少傾向にある。事業主の高齢化と後継者不足という根本的課題もあるが、家族経営等の小規模事業所が多いことから経営難に落ち入りやすく、休業や廃業に追い込まれている状況が散見される。

(2) 所管地域の活性化の方向性（事業の目標）

管轄地域の事業所は市場の縮小や競争の激化等経営環境の変化に対して、小規模事業者自身が有効な対策を見出せていない現状にある。特に内陸部は小規模事業者の占める割合が非常に高く、事業所数が減少傾向にある中、『事業継続支援』を実施する。併せて市内創業者を支援していく『創業支援』を実施することで地域の活性化を図る。事業収入が減少している中小企業に対し、積極的に『経営・金融支援』を実施する。近年の経営課題である若手・女性経営者の育成・養成や脱炭素経営支援等に取り組むとともに2025大阪・関西万博を契機に海外ビジネス展開企業支援を地域活性化事業として取り組む。商業者においては集客力に乏しい現状を打破すべく、泉南市や市内の各種団体等、オール泉南で連携することにより、商店の販売機会の創出や泉南の特産品を情報発信出来るような町おこしのイベントを実施して地域の活性化に取り組んでいく。工業者においては地場産業が衰退する中、市内内陸部の既存事業所とりんくうタウンに進出している企業の連携に取り組み、共有課題であるテーマを設定したニーズの高いセミナー・事業所視察や情報交換・展示会出展等の機会を創出する場を設け、泉南地域全体の活性化に取り組んでいく。

(3) 事業を実施した効果

経営相談支援事業では、管内小規模事業者が抱える潜在的な経営課題を巡回指導によるヒアリングを基に経営実態を把握した。経営指導員が適切・丁寧な指導を心掛けることで、多種に渡る経営課題の解決に向け、相談事業者に一步踏み込んだ伴走型個社支援を効果的に支援することが出来た。専門相談支援事業では事業計画策定や労務対策など専門的かつ高度な相談に対し、金融・税務・法務・経営・事業承継の定期窓口相談にて支援を実施した。地域活性化事業では「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催し、運営協議会・実行委員会が中心に軌道に乗せ、販路開拓や商品開発等に取り組んだ。「せんなんまちゼミ」は実行委員会が中心となり、「泉南まるごとフェスティバル」と協調し認知度向上、集客アップのためSNS等の活用をより進めた。「工業振興対策事業」ではニーズの高い事業所視察と情報交換会、生成AIセミナー等を開催した。また、2025年大阪・関西万博開催に向けた中小企業の参画促進を目指し、経済効果や最新情報を各企業に波及させることを目的に「海外ビジネス展開希望企業支援事業」を広域事業として開催した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題・次年度への取り組み

米国の動きや中東情勢による資材・原材料等の高騰や急激な為替変動などは、地域経済の在り方を抜本的に変えるには十分なものであり、管内中小・小規模事業所を取り巻く経済は依然として非常に厳しい状況にある。こうした現状を踏まえ、商工会は巡回指導を基本とした伴走型の指導・助言により事業所の実態把握に努め、ビジネスの変革に伴うデジタル化の推進、新事業展開（海外展開含む）へ向けた事業計画作成・雇用促進・人材育成・BCP策定など持続可能な社会実現に向け、中小・小規模事業者のニーズにあった適切な事業支援の拡充を図り、経営課題解決に向け支援を実施するとともに地域経済の更なる活力を生み出せるよう引き続き事業を実施する。また、事業者へのヒアリングから自社におけるブランディング強化の支援を望む声も大きく、次年度以降事業に取り組み実施を検討する。

I 経営相談支援事業

前年度支援企業数		211 社				
支援メニュー		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
1	事業所カルテ・サービス提案	事業所	210	210	215	102.4%
2	支援機関等へのつなぎ	支援数	19	20	18	94.7%
3	金融支援（紹介型）	支援数	10	8	8	80.0%
4	金融支援（経営指導型）	支援数	30	30	35	116.7%
5	マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	5	3	3	60.0%
6	資金繰り計画作成支援	事業所	5	1	1	20.0%
7	記帳支援	事業所	60	60	61	101.7%
8	労務支援	支援数	45	47	46	102.2%
9	人材育成計画作成支援	事業所	0	0	0	-
10	マーケティング力向上支援	事業所	5	0	0	0.0%
11	販路開拓支援	支援数	45	52	57	126.7%
12	事業計画作成支援	支援数	18	18	21	116.7%
13	創業支援	事業所	5	11	16	320.0%
14	事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	15	10	10	66.7%
15	コスト削減計画作成支援	事業所	5	15	20	400.0%
16	財務分析支援	事業所	20	37	46	230.0%
17	5S支援	事業所	0	0	0	-
18	IT化支援	事業所	5	4	10	200.0%
19	債権保全計画作成支援	事業所	0	0	0	-
20	事業承継支援	事業所	5	1	2	40.0%
21	災害時対応支援	事業所	0	0	0	-
22	フォローアップ支援	事業所	51	51	50	98.0%
23	結果報告	事業所	210	210	215	102.4%

件数設定の根拠（今年度の特徴等）

目標値は令和5年度支援企業数と令和6年度実績見込み支援企業数を勘案し、市内事業所約900件を想定し設定する。小規模事業者への「伴走型支援」として、会報や各種資料により適時適切に情報提供をすると同時に、窓口相談や巡回訪問等によるヒアリング時に事業所のニーズや経営課題等を把握し今後の支援方針を決定していきたい。経営改善、経営向上に繋げるため、各種支援メニューの実施や専門相談支援事業を組み合わせ課題解決に向け取り組む。より効果の高い経営支援実現のため、経営指導員の知識・資質の向上が必要不可欠であり、自己研鑽を推進する。

支援のポイント・成果

当商工会では経営指導員の窓口対応や巡回訪問時に事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出を心掛け相談支援を実施した。事業所へのサービス提案では課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、改善出来るまで継続支援していくという強い姿勢から相談事業者の信頼を得られるよう努めた。令和7年度は金融支援を前年度の1.5倍に計画数を設定したが2倍近くの実績となり、経営指導員がより伴走支援に重点を置き支援を実行できた。

<代表事例カルテ>

令和2年8月創業に向けた創業支援から支援をスタートしており、創業融資、ものづくり補助金事業計画作成支援、マル経融資など様々な経営支援を実施している。青年部にも加入する等地域活性化にも積極的に参加している。本年度は顧客リストの見直し、従業員雇用を想定した事業拡大に係る事業計画作成、金融支援等を実施した。

Ⅱ 専門相談支援事業

事業名		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
24	法務相談	日数	6	6	6	100.0%
25	税務相談	日数	12	12	12	100.0%
26	金融相談	日数	0	0	0	-
27	労務相談	日数	6	6	6	100.0%
28	その他相談	日数	12	12	12	100.0%

支援のポイント・成果

専門家の知識が必要である場合が多く、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る無料相談窓口体制を実施している。昨年度より高齢化している事業所の事業承継案件のスムーズな対応を実現のため、大阪府事業承継引継ぎセンターと連携した事業承継無料相談窓口を月1回設置したが、今年度は中々実績に繋がらなかった。また、今年度は記帳支援時に税理士との連携を強化し、経営指導員のスキルアップに努めた。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がった。

泉南市商工会

事業名		得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業		事業番号	I	新規/継続	継続										
想定する実施期間		H29 年度～		年度まで		9	年 目	※複数段階的实施事業は 別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような 状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	泉南市では商店街が形成されておらず、商業集積地が点在しているため、個店の集客力が乏しく収益をあげるのが難しい現状がある。また大型商業施設の進出、少子高齢化などで従来の顧客が減少してきていることも売上低下の要因としてある。そのような状況の中、大型店にはない個店・事業主の魅力を伝え、消費者と個店を強く結びつけることが出来る「まちゼミ」事業を実施することで、個店には新規顧客と売上を、お客様には満足を、地域には賑わいを取り戻すことを目指す。 これまで「せんなんまちゼミ」の開催に向けた参加店研修会や交流会を開催する中で、参加店舗から「新規顧客の獲得につながった」「本事業は継続的に実施してほしい」との意見をいただいている。複数回にわたる参加店研修会や交流会は事業者同士のコミュニケーションの場・情報交換の場として機能しており、事業者間の関係性の構築と維持やモチベーション向上にもつながっている。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内で事業を営んでいる事業所で、個店の魅力アップと地域活性化に積極的に取り組もうとしている小売及び飲食を含むサービス業。またBtoCを行っている製造業。															
	実施時期・具体的な 内容及び事業手法	【第9回せんなんまちゼミの実施】 令和8年1月16日～2月13日の期間で、得する街のゼミナール「第9回せんなんまちゼミ」を開催し、泉南市内の29事業所において49講座を開講した。 【まちゼミ実行委員会】7回開催 参加店舗の主體的な関わりを促すため、3名の委員と事務局で構成される実行委員会を実施し事業を推進した。 令和7年 4/15、5/20、6/24、7/31、10/23、12/9 令和8年 2/16 【まちゼミ参加店勉強会】の開催 下記の通り参加店が集まる場を設け、全体的なブラッシュアップや事業者同士の協力関係を築くとともに、主体性の育成を図った。 ①せんなんまちゼミの集い 令和7年9月25日(木) 参加者18名 内容：まちゼミの基本、第9回せんなんまちゼミスケジュール、申込等事務連絡、懇親会 ②せんなんまちゼミ結果検証会 令和8年3月26日(木) 参加者11名 内容：受講者アンケートと講師店アンケートの振り返り、今回の成果、良かったこと悪かったことの共有、次回に向けての課題分析をおこなった。 【イベントでのまちゼミPRブース運営】 令和7年11月23日(日)に泉南りんくう公園(SENNAN LONG PARK)で開催された「泉南まるごとフェスティバル」にてまちゼミPRブースを設置、せんなんまちゼミ事業の認知度向上とせんなんまちゼミ公式LINEアカウント登録勧奨のためミニ講座体験(カスタムボールペンづくり・ヘッドスパ体験)を実施し、結果150名以上が体験講座に参加し、その内約80名がせんなんまちゼミ公式LINEアカウントを友達登録するに至った。 【まちゼミオープンチャットの活用】 参加店同士がリアルタイム・気軽にまちゼミに関する情報共有ができるようLINEを活用したまちゼミオープンチャットを活用している。参加店の8割が加入し、ゼミの受付状況や疑問質問を参加店で共有したことで参加意欲を高めることにつながった。 ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞ <table><tr><td>①府施策連携</td><td></td></tr><tr><td>②広域連携</td><td></td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td>事業実施の際には泉南市の商業担当者とも連絡を密にとり、市広報への掲載や泉南市公式ラインやフェイスブックでの開催告知、泉南市内の幼稚園・小学校・中学校へのチラシ配布など広報面にて連携を行った。</td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td>まちゼミ参加事業所に対し、SNS活用支援や独自でのゼミ開催に向けたPOP作成などの販路開拓支援、マーケティング支援、またコラボ講座を企画するにあたって企業同士の紹介支援を実施することでカルテ化につなげた。</td></tr></table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	事業実施の際には泉南市の商業担当者とも連絡を密にとり、市広報への掲載や泉南市公式ラインやフェイスブックでの開催告知、泉南市内の幼稚園・小学校・中学校へのチラシ配布など広報面にて連携を行った。	④相談相乗	まちゼミ参加事業所に対し、SNS活用支援や独自でのゼミ開催に向けたPOP作成などの販路開拓支援、マーケティング支援、またコラボ講座を企画するにあたって企業同士の紹介支援を実施することでカルテ化につなげた。
	①府施策連携																
②広域連携																	
③市町村連携	事業実施の際には泉南市の商業担当者とも連絡を密にとり、市広報への掲載や泉南市公式ラインやフェイスブックでの開催告知、泉南市内の幼稚園・小学校・中学校へのチラシ配布など広報面にて連携を行った。																
④相談相乗	まちゼミ参加事業所に対し、SNS活用支援や独自でのゼミ開催に向けたPOP作成などの販路開拓支援、マーケティング支援、またコラボ講座を企画するにあたって企業同士の紹介支援を実施することでカルテ化につなげた。																
事業全体の実績／目標達成	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	82.9%	満足率	93.1%								
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	代表指標	まちゼミ実施後のアンケートにおいて事業所や商品のPR、新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合														
		数値目標	70	%	実績数値	96.5	%	目標達成度	137.9%								
	成果の代表事例	訪問鍼灸事業者・・・泉南市内を中心に訪問鍼灸マッサージ事業を展開している事業者で、今回で2度目のまちゼミ参加となる。新規顧客開拓を目的にまちゼミに参加しており、今回は2種類の講座を開催し29名集客することができた。まちゼミをきっかけに訪問鍼灸の利用相談が複数件発生し、継続利用をご検討いただいている。訪問鍼灸というサービス自体を知らなかった参加も多く泉南市内での販路開拓、認知度向上に貢献することができた。															

成 度	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実 施 結 果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に達していな い場合は、その理由や今後ど のようにフォローするのか)	ゼミの集客力の格差是正 ・まちゼミ参加店間の集客格差は、テーマの分かりやすさ・ターゲット設定・告知力・開催時間の適合 度などが主な要因として考えられる。特に「誰に何を提供する講座か」が曖昧な店舗ほど集客が伸びに くい。改善には、ターゲットを明確化した講座設計、事前の告知サポート強化、他店との連携による相 互紹介、参加者の声を活かした内容改善が有効だと考えている。参加店向けの勉強会や個別支援等で対 策をすすめたい。					

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

泉南市商工会

事業名		工業振興対策事業			事業番号	2	新規/継続	継続		
想定する実施期間		R3	年度～	年度まで	5	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	りんくう地域を中心とした沿岸部、市内内陸部と山陸部に点在する製造業を中心とする工業系事業者にとって、経営課題を共通認識し課題解決に向けた地域事業者間の情報交換は重要度を増している。先進事業所などの技術やノウハウ、経営方針など他社事例を視察することで自社の気付きや取り組む方向性を見出し前向きに経営すること、また中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナーを開催し、経営力の向上に対するそれぞれの意識を高め、その結果として工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	製造業を中心とした工業系事業者。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	業系事業者をターゲットとし、自社の経営力強化に結び付くよう下記事業を開催した。 ①経営セミナー【人材育成型】 経営セミナーとして、工業振興対策委員会にて、事業者の経営力の向上に資するものを検討し、生成AIの活用セミナー内容を決定し、令和7年12月11日(木)15時00分～17時00分にて「生成AI活用セミナー」を開催した。 ②事業所視察と情報交流会【人材交流型】 工業振興対策委員会にて視察先を検討し、令和8年3月25日(水)8時20分～17時00分にて、吹田市に所在するアサヒビールミュージアム吹田工場を視察先として、事業所視察ツアーを開催した。また、合わせて情報交流会を実施し、自社PRの取り組みや、情報発信・名刺交換を行い、他社の現状や経営方針を聞くことで、双方向での交流拡大が図れ、また商工会から参加事業者へそれぞれに適した支援施策の情報提供を行った。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
		③市町村連携	泉南市産業振興課商業施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。							
	④相談相乗	セミナー参加事業所より、生成AIをビジネスに活用できるのかの相談対応を行った。事業所視察における情報交流会において、支援施策等の情報提供を行い、事業所支援へとつながることができた。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	48.0	支援実績率	137.1%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合							
		数値目標	70	%	実績数値	86.8	%	目標達成度	124.0%	
	成果の代表事例	①経営セミナーについて 生成AI活用セミナーを通じて、生成AIの最近の動向、ツール紹介、事例紹介、ChatGPTを操作してのプロンプトのコツ、生成AIを使用する上でのリスク等、わかりやすく解説いただき、満足度の高いセミナーとなった。個別相談も実施し、まだ業務において生成AIを活用したばかりの事業所や勤怠管理の業務管理など、適格にアドバイスしていただき、生成AIの活用法について理解を深めてもらった。 ②事業所視察と情報交流会について 日本初の『本場に負けないモノづくり』を実現した挑戦の歴史と、現代の製造現場に不可欠な持続可能性への取り組みを、実地で見学・体感し、学ぶことができ、経営力強化につながった。またSDGsへの対応への廃棄物ゼロを目指す環境経営についても意識向上に寄与した。ブランド価値を高める「見せる工場」としての戦略も、地域活性化や販路開拓のヒントとなり、気づきを得ることができた。そして他社との交流の場がない中、名刺交換や情報交換といった地域企業の交流をはかることができた。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	中小企業が直面する共通の経営課題に対し、経営セミナーや視察を通じて解決の糸口を提供し、個々の事業者が自律的な経営改善を図れるよう次期以降も継続して取り組む。また、事業者との交流の場となる機会を創出し、つながりを増やし、工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化となるよう継続して実施していく。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	110.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	86.7	%	目標達成度	123.8%
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	31.5	支援実績率	157.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	視察先の取組を参考にし、経営課題の解決に取り組む、取り組みたいと回答した事業者の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	87.0	%	目標達成度	124.2%
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	

泉南市商工会

事業名		地域連携型「泉南まるごと物産展」事業			事業番号	3	新規/継続	継続										
想定する実施期間		H25 年度～		年度まで		13	年 目	※複数段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること										
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	商店のほとんどの店舗が点在している泉南地域では、商店街等の商業集積地域が少なく、また大型店の出店に伴い商店が疲弊し集客力に乏しいのが現状である。そこで地域の事業者の店舗を1ヶ所に集め物産展を開催することで集客力を高め、大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品やサービスを展示PR・対面販売することで商品の良さを周知し、新規顧客獲得と販路開拓につなげる。 これまで物産展事業を実施する中で、高い集客力と抜群のロケーションをもつ泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）を会場とする物産展イベントの開催は出店事業所からも評価が高く、出店者アンケートや来場者アンケートからは継続した開催を求める声を頂いている。また泉南市内事業者からの出店申込も増加傾向にあり市内からの出店ニーズも高まっている。																
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地域2市3町（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の小売業・サービス業を中心とした消費者向けの商品やサービスを展開している事業者（60社）																
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【泉南まるごとフェスティバルの開催】 令和7年11月23日（日）10時～15時に6回目となる「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）で開催した。当イベント内において「地域連携型泉南まるごと物産展」を開催し、近隣商工会と連携して計62社（泉南市38社・阪南市13社・熊取町6社・岬町3社・忠岡町2社）が出店することで、商品と事業所のPRを行った。当日は晴天に恵まれ風もなく穏やかな小春日和の中、約8,000名の来場者を迎えることができ各出店事業所の売上・PRに寄与した。 本イベントは、地域活性化イベント「泉南マルシェ」を令和2年にリニューアルし、後継イベントとして泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催しており、泉南市内のみならず市外からも多くの人を集められるイベントとして成長している。 事業者が出店する「泉南まるごと物産展」、手作り作家が出店する「手作りの森マルシェ」、農業者と漁業者が一次産品を直接販売する「新鮮市場」、大阪府技能士会連合会と連携したものづくり体験教室、泉州地域の各種団体がそれぞれの活動をPRするブースなど、総計で100を超えるブースが並び会場を盛り上げ、盛会のうちに終了することができた。 今回、本イベントについて来場者からアンケートを回収し来場者の属性やニーズを把握した。このアンケート結果を踏まえ次回以降事業を推進する。																
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>																	
	①府施策連携	大阪府施策連携事業による大阪府技能士会連合会と連携したワークショップ（ものづくり体験教室）を実施した。																
	②広域連携	単独事業ではなく連携した商業活性化の施策として5商工会（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の広域連携で実施した。																
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)		60.0		総支援企業数(実績)		62.0		支援実績率		103.3%		満足率		93.5%		
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標		新規客を獲得した、または売上が増加した事業所の割合														
		数値目標		70		%		実績数値		90.3		%		目標達成度		129.0%		
	成果の代表事例	障害福祉サービス業・・・就労継続支援B型事業所 今般新たな取り組みとして、自社でクッキーの製造販売を行うこととなった。まるごと物産展の会場ではクッキーの試食とネーミング調査アンケートを実施することができた。普段地域住民の方と触れ合う機会があまりない事業所だが、イベントへ出店することで多くの方へ事業所と商品のPR、消費者調査を行うことができた。またスタッフもイベント出店に携わることでモチベーションのアップ、勤労意欲の向上につながった。																
	その他目標値の実績	目標値（計画）		4,000		名		目標値（実績）		8000		名		目標達成度		200.0%		
イベント開催にあたり、新聞折込やポスティング、地域の幼稚園・小中学校でのチラシ配布、Instagram・Facebook等のSNS活用、出店事業者への開催告知協力依頼等により告知をはかった。その他イベント情報サイトを活用した情報発信を行ったことで、泉南市内外、他府県からの集客にもつながった。																		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	【店舗配置の検討】 近年のこのシーズンは、毎週のように近隣で同様の屋外イベントが頻繁に開催されていること、また今回は絶好の行楽日和で三連休のなかびということもあり想定していたほどの来場者を集めることができなかった。コンテンツを充実させる等の集客力アップに取り組まなければ、来場者を集めることが難しくなっていると感じました。また出店している店舗数も多く、客が分散することで一店舗当たりの売上が伸び悩んでいる。 今後、【出店内容のブラッシュアップ】【コンテンツの増強】等の取り組みにより来場者の増加を目指す必要があると感じた。																

5-2. 地域活性化事業 事業調書（実績）

泉南市商工会

事業名		海外ビジネス展開希望企業支援事業		事業番号	4	新規/継続	新規		
想定する実施期間		R7	年度～	年度まで	1	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	2025年4月から大阪・関西万博が開催され、世界中から人が集まり、日本経済全体、特に大阪・関西地域の活性化に大きく貢献すると期待されている。万博開催を契機に、ビジネスチャンスを広げようと、海外展開を希望する企業の増加が予測される。 国内市場での競争が激化するなか、海外へのビジネス展開は、海外市場に新たな顧客層を開拓する可能性がある。また、企業が成長し、持続可能なビジネスを築くうえで非常に重要な戦略になっていく。さらに、昨今の物価高騰により、消費者の購買意欲が低下し、日本市場が縮小していくという現状のなか、海外市場にも目を向ける必要がある。 海外展開はビジネスチャンスの可能性があるが、同時に慎重な計画と実行が必要である。海外ビジネス展開のノウハウを学び、強みや弱みを分析した上で、海外展開における戦略や計画を立案するきっかけとなる支援を目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地域2市3町(泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町)の事業全般の経営者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催内容：海外ビジネス展開セミナー 開催日時：令和7年9月17日(水)14時00分～16時00分 開催場所：泉南市商工会館 ●第1部「海外ビジネスの扉を開く基礎知識」 海外ビジネス成功の必要条件、海外展開を検討する上で最低限知っておくべき事項を解説した。 ●第2部「ゼロから始まる越境EC入門」 越境ECの基礎知識やノウハウについて、初学者の方向けに紹介を行った。 ●情報提供 大阪府から外国人材受入加速化支援事業の「MEET IN OSAKA」について情報提供を行った。 大阪産業局より国際ビジネスサポートセンターの事業紹介を行った。 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 大阪府商工労働部 成長産業振興室 国際ビジネス・スタートアップ支援課 グローバルビジネスグループと連携し、中小企業に対して情報提供を実施した。 ②広域連携 連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加募集、チラシ配布やHP掲載など業務を分担した。 ③市町村連携 泉南市産業振興課商業施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。 ④相談相乗 中小企業等向けの海外展開における支援施策についての相談対応を行った。また大阪府の外国人材受入加速化支援事業や大阪産業局、中小機構の事業紹介の情報提供を行った。							
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	40.5	支援実績率	101.3%	満足率	95.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
		数値目標	70	%	実績数値	80.0	%	目標達成度	114.3%
事業全体の実績／目標達成度	成果の代表事例	セミナーを受講後、海外ビジネス展開の取り組みの内容や成功事例を学び、具体的な越境ECにつながる伴走支援はできなかったが、大阪府や他支援機関である大阪産業局、中小機構と連携をとり、情報発信を行うことができ、越境ECの海外展開への意識の高まり、販路拡大となる契機となった。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	海外ビジネス展開に向けて中小企業にても今後のテーマであることを認識し、課題解決や今後の方向性を示す内容のセミナーを実施できたが、事業所が経営課題として海外展開を重要視するまでには到達できなかったことが今後の課題である。今後も国や大阪府、他経営支援機関と連携を取りながら海外ビジネス展開に関する施策について最新の情報発信を行っていく。							